

# 平成8・9年度 都市歴史研究室事業概要

平成10年3月31日現在

[1] 都市歴史研究室的概要	4月1日 専門研究員1名着任(平成6年6月30日まで)。
1. 博物館の調査研究	10月1日 専門研究員3名着任(平成6年3月31日まで)。館の研究体制の検討作業開始。
(1) 東京都江戸東京博物館の調査研究 江戸東京博物館では、資料の収集・保管・展示・普及の各分野にわたり、それぞれで調査研究を行い、成果を事業全般に反映している。	3月31日 『東京都江戸東京博物館調査報告書』第1集「東京湾変遷模型原図」刊行。
(2) 都市歴史研究室の設置目的 都市歴史研究室は、江戸東京学の研究センターとして、江戸東京の歴史・文化・生活に関する有形・無形の資料を対象に調査研究を行い、博物館活動の基礎を支えている。また、その成果を広く公表し、学術及び文化の発展に貢献することを目指している。	平成6年度 4月1日 研究員3名、嘱託員1名着任。学芸員1名増員。 4月27日 第1回研究室研究会開催。 9月 『東京都江戸東京博物館研究報告』刊行のため論文募集開始。 2月1日 専門研究員3名着任(1名は平成9年8月31日まで)。
2. 都市歴史研究室の歩み 昭和61年度	3月31日 『調査報告書』第2集「ヤミ市模型の調査と展示」刊行。
7月 「東京都江戸東京博物館建設基本構想」が発表され、研究の方向性と研究室設置の方針が示される。	平成7年度 4月1日 専任の室長着任。 4月14日 共同研究「江戸東京学の現状と課題」の研究会始まる。
平成3年度 「基礎研究」「一般研究」の予算が承認される。	10月1日 『江戸東京博物館研究報告』第1号刊行。
平成4年度 4月1日 都市歴史研究室発足。学芸員3名配属。(室長は事務局長の兼任。開館までは常設展示を支援)。	3月31日 『調査報告書』第3集「帽子木型職人 調査と映像記録」(学芸課資料収集係編集)刊行。
7月1日 専門研究員3名着任(平成5年3月31日まで)。	この年度 館職員で構成される調査研究専門グループの活動開始。
この年度 研究用図書購入。職員図書室に配架。また、基礎研究として、研究文献調査委託開始。	平成8年度 1月12日 江戸東京博物館シンポジウム「明治維新时期を都市民はどう生きたか」を開催。
平成5年度	

- 3月13日 館職員による学芸講座  
(ミュージアムセミナー)  
の試行開始(平成9年度から  
本格実施)。
- 平成9年度
- 4月1日 学芸員1名増員
- 12月25日 調査研究専門グループ活動  
報告会開催。
- 3月28日 開館五周年記念講演会開  
催。
- 3月31日 『江戸東京博物館史料叢書  
1 四谷塩町一丁目人別書上  
(上)』刊行。

## [2] 平成8・9年度事業概要

### (1) 共同研究

#### 目的

江戸東京の都市としての形成や発展過程について、歴史、生活文化、都市構造の3分野から総合的なテーマを設定し、当研究室を中心に外部の研究者や研究機関と共同で研究に取り組む。歴史・考古・民俗・美術・文学・建築・社会・地理など、様々な学問の専門的方法を取り入れた学際的な研究をめざし、共同の資料分析やフィールド調査を実施するとともに、随時研究会を開催して研究の交流と深化をはかる。

研究成果は、『研究報告』への論文掲載、講座・シンポジウムの開催、常設展示への活用、企画展示の開催など都民に分かりやすい形で公開し、都民の教養、学術および文化の発展に寄与することを目的とする。

#### ①平成8年度 研究テーマ

- ・幕末から明治における四谷塩町に関する総合的研究
- ・安政大地震と関東大震災の災害及び復興に関する比較研究
- ・江戸東京学の現状と課題

#### ②江戸東京博物館シンポジウムの開催

江戸東京学の研究センターとし

ての都市歴史研究室の役割を広く一般に普及し、江戸東京学を振興するため「江戸東京博物館シンポジウム」を定期的に開催することになった。第1回は共同研究「江戸東京学の現状と課題」の一環として「明治維新时期を都民はどう生きたか」をテーマに平成9年1月12日に開催された。

論題とパネリストは次のとおり。

- ・慶応期の都市騒擾と維新时期の町法改正

牛米 努(近代史)

- ・都市の水利

—近世から近代へ—

北原糸子(近代史)

- ・幕末・明治期の西洋建築導入と職人の対応

初田 亨(建築史)

議長

北原 進(都市歴史研究室長)

シンポジウムの内容は前年度開催された「江戸東京学の現状と課題」の研究会の報告要旨とともに『江戸東京博物館シンポジウム報告書1』として、平成9年3月に刊行された。

#### ③平成9年度 研究テーマ

- ・江戸東京における首都機能の集中と庶民生活
- ・幕末維新时期における江戸東京の歴史・文化の変容に関する総合研究
- ・安政大地震と関東大震災の災害および復興に関する比較研究
- ・石井良助氏収集史料の総合調査

### (2) 一般研究

#### 目的

一般研究は、江戸東京の都市としての形成や発展過程を、歴史、生活文化、都市構造の3分野から専門的なテーマを設定し、当研究室の職員を中心に個別具体的課題に取り組む研究である。

各自課題を掲げて、計画的に携わるとともに、研究会の場において研究報告を行い、職員・研究員の資質向上に役立てて研究の深化をはかる。その研究成果は『研究報告』への論文掲載、展示や講演会など博物館事業への活用、さらに日常的な教育普及活動を通じて広く都民に公開・還元していく。

平成8年度 研究テーマ及び担当者

- ・幕末の米穀市場と金融政策  
都市歴史研究室長 北原 進
- ・関東の醸造業と江戸商業  
研究員 林 玲子
- ・都市の民俗音楽の実態研究 — 上野・浅草を中心に —  
研究員 小島美子
- ・19世紀における海外所在の民具コレクションについて — モースコレクションを中心に —  
学芸員 小林淳一
- ・江戸狩野派の研究 — 初期・中期を中心として —  
学芸員 畑 麗
- ・今戸焼の総合的研究  
学芸員 小林 克
- ・日本近代化過程における庶民意識の変遷に関する基礎研究  
学芸員 岩城紀子
- ・近代東京人の芸能鑑賞  
専門研究員 横山泰子
- ・近現代都市・東京と建築表現に関する研究  
専門研究員 米山 勇
- ・近世都市江戸における武家地および商人の研究  
専門研究員 岩淵令治

平成9年度 研究テーマ及び担当者

- ・「首都」構造の成立過程  
都市歴史研究室長 北原 進
- ・石井良助氏収集文書の研究  
研究員 林 玲子
- ・都市の民俗音楽の実態 — 東京下町の職人層の音楽を中心として —  
研究員 小島美子

- ・都市江戸と参勤交代制度  
学芸員 近松鴻二
- ・米国ピーボディ—エセックス博物館所蔵の19世紀日本コレクションについて  
学芸員 小林淳一
- ・日本近世社会における民衆儀礼の研究  
学芸員 米崎清実
- ・日本近代化過程における庶民意識の変遷に関する基礎研究  
学芸員 岩城紀子
- ・東京における都市近郊農業の変遷  
学芸員 田中実穂
- ・近代東京人の芸能鑑賞 — 新聞・雑誌における芸能関係記事の基礎的研究 —  
専門研究員 横山泰子
- ・近現代都市・東京と建築表現に関する研究  
専門研究員 米山 勇
- ・近世都市江戸における武家地および商人の研究  
専門研究員 岩淵令治

### (3) 基礎研究

#### 目 的

江戸東京に関する資料の基礎的、学術的な調査・研究を行うことを目的とし、江戸および東京の歴史文化に関する研究文献の調査分析、館蔵資料の調査研究、失われゆく都内の歴史・文化・産業に関する資料や事業等の調査研究、地方所在の江戸東京に関する資料の調査分析を行う。

これらの調査研究を通じて、江戸東京に関連する資料の学術的な分析を進め、資料や文献を中心とした情報を広く都民に公開し、基礎的な研究情報の蓄積を目的とする。

#### ①江戸東京に関する研究文献の調査委託

平成8年度 研究文献調査委託項目

- ・江戸遺跡に関する文献調査 I (イ)遺跡編

- (ロ)遺物編
  - ・江戸の武家地と武家屋敷に関する文献調査
- 平成9年度 研究文献調査委託項目
  - ・江戸遺跡に関する文献調査II
    - (イ)総括・研究史
    - (ロ)都市論
    - (ハ)遺構論
    - (ニ)遺物論
  - ・江戸の都市施設に関する文献調査
- ②調査研究専門グループの活動
  - 設置趣旨と目的
 

江戸東京博物館の学芸的職務に携わる職員は、江戸東京の歴史・文化・生活に関する資料収集・整理・保存管理・展示ならびに普及活動の業務を分担している。学芸員には、関わるすべての業務に「調査研究」が位置付けられている。ライン業務の遂行とともに、それぞれの専門分野の調査研究を一層充実するために、歴史・文化・生活・博物館学の4分野からなる「調査研究専門グループ」を設置する。

調査研究専門グループの活動の成果は、『研究報告』『調査報告書』『史料叢書』などに掲載するほか、企画展示・ミュージアムセミナーの提案・実施等を通して広く都民に還元する。

\*平成8・9年度の活動内容は別表1参照

#### (4) 『研究報告』『調査報告書』『史料叢書』の刊行

##### 目的

当館に所属する職員の研究成果を発表し、広く都民に分かりやすい形で公開するために『研究報告』『調査報告書』ならびに『史料叢書』を都市歴史研究室あるいは諸係において編集し、刊行する。館職員の博物館活動を通じて得られた新しい成果をいち早く文字化して、都民の歴史・生活・文化に関する知的教養のニー

ズに応えるとともに、江戸東京学進展の基盤とすることを目的とする。

平成8年度には『研究報告』第2号、『調査報告書』第4集「今戸焼」、第5集「ヨーロッパにおける日本関連資料の所在調査報告書」（日本語版・英語版、学芸課資料収集係編集）を刊行した。

平成9年度には『研究報告』第3号、『江戸東京博物館史料叢書1四谷塩町一丁目人別書上(上)』を刊行した。これらの刊行物は都内および全国の主要図書館等に配布するとともに、ミュージアムショップで実費販売をしている。

#### (5) 都市歴史研究室主宰の研究会

当館の学術的水準と博物館技能の向上を図るため、都市歴史研究室が研究会を主宰する。テーマとしては共同研究・一般研究、『研究報告』『調査報告書』掲載論考に関するものなどがある。

\*平成8・9年度の実施状況は別表2参照

#### (6) データベース作成の準備作業

江戸東京に関する研究推進のため、研究用図書データベース化、大名・旗本に関するデータなどのカード化を引き続き行った。

別表 1

## 調査研究専門グループの活動内容（平成 8・9 年度）

グループ分野	グループ名	活 動 内 容
第 1 (歴 史)	近 現 代 史	平成 8 年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>活動方針の検討</li> <li>「戦後史」をテーマとする企画展示の検討および提案（平成12年度開催目標）</li> <li>館蔵の戦中・戦後資料の調査・研究</li> <li>各自の研究テーマの設定と研究発表</li> </ul> 平成 9 年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>「戦後史展」（仮称）企画案の作成</li> <li>水野家戦後資料（館蔵）の整理と聞き取り調査</li> <li>他館企画展視察</li> <li>ミュージアムセミナー「明治初期地図作成譚」の提案と実施</li> <li>館蔵資料の再分類作業（旧分類：印刷物・その他雑誌）</li> </ul>
	近 世 史	平成 8 年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>活動方針の検討</li> <li>江戸人宿・米屋久右衛門家文書の調査・筆耕</li> <li>「資料集」の体裁検討</li> <li>企画展示「没後100年記念勝海舟展」の検討および提案（平成11年度春開催予定）</li> <li>ミュージアムセミナー「古文書解読講座」の提案および実施。</li> </ul> 平成 9 年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成10年春開催の企画展示「伊能忠敬」展支援のため「伊能忠敬日記」の江戸滞在部分の講読</li> <li>江戸の歴史をテーマとした企画展示の検討</li> <li>ミュージアムセミナー「古文書解読講座」6 講座、「江戸の地図を鑑る」「伊能忠敬—江戸を測る」の提案と実施</li> <li>「江戸湯屋文書」等館蔵の小古文書群の筆耕と目録作成</li> <li>館蔵資料の再分類作業（旧分類：版本・写本・古文書・文書類）</li> </ul>
第 2 (文 化)	建 築	平成 8 年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>活動方針の検討</li> <li>近代建築の保存に関する研究</li> <li>建築展視察</li> <li>近代建築をテーマとした企画展示の検討と提案</li> <li>ミュージアムセミナーの提案と実施「近代建築を観る」</li> </ul> 平成 9 年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>近代都市・東京の「建築—都市」史の研究</li> <li>都内現存建築遺構の調査</li> <li>都内遺失建築の復元的研究</li> <li>建築実測調査方法の研修</li> <li>CAD による 3 次元画面作成方法の展開</li> <li>ミュージアムセミナー「たてもの園をみて歩く」「たてもの園青空教室」の提案と実施</li> </ul>
	芸 能	平成 8 年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>活動方針検討</li> <li>芸能記録の媒体と方法の研究</li> <li>江戸の芸能をテーマとした企画展示の検討</li> <li>ミュージアムセミナー「歌舞伎の見方」の提案と実施</li> </ul> 平成 9 年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>東京の庶民芸能に関する調査研究。</li> <li>清元の師匠の聞き取り調査</li> <li>江戸東京博物館の歌舞伎展示及び関係資料の情報をまとめ「演劇会」11月号に掲載</li> </ul>

グループ分野	グループ名	活 動 内 容
第 2 (文 化)	美 術	平成 8 年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>活動方針の検討</li> <li>館蔵の美術資料の調査研究</li> <li>江戸の美術に関する企画展示の検討と提案(平成10年度開催予定「江戸狩野派展(仮称)」)</li> <li>ミュージアムセミナー「浮世絵の見方」の提案と実施</li> </ul> 平成 9 年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>歌川広重画「東海道五十三次」(保永堂版)の調査研究</li> <li>歌川広重をテーマとする企画展示の検討と情報収集</li> <li>ミュージアムセミナー「浮世絵に描かれた伝奇ものがたり」の提案と実施</li> <li>館蔵資料の再分類作業(旧分類:美術・工芸)</li> </ul>
	文 学	平成 8 年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>活動方針の検討</li> <li>全国の文学館等の調査研究活動に関するアンケート調査</li> <li>文学に関する館蔵資料の調査</li> <li>図書室展示の検討</li> <li>江戸東京の文学に関する企画展示の検討</li> </ul> 平成 9 年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>全国の文学館等の調査研究活動に関するアンケートの結果を各館に報告</li> <li>夏目漱石・永井荷風に関する調査研究および関連資料の図書室展示の実施</li> <li>資料としての図書についての調査研究の一環として参考文献目録の作成</li> </ul>
第 3 (生 活)	文化人類学	平成 8 年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>活動方針の検討</li> <li>隅田川に関する総合的な調査研究と企画展示の検討と提案(平成12年度開催をめざす)</li> <li>聞き取り調査などフィールドワークの方法に関する勉強会</li> <li>個別研究の報告</li> <li>館蔵資料の再分類と目録作成に関する検討</li> <li>ミュージアムセミナー「道具から見るくらしの変遷」の提案と実施</li> </ul> 平成 9 年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>「隅田川をめぐる生活と文化」をテーマにフィールドワーク、関連の絵画・歴史資料の基礎情報収集</li> <li>川に関する展示のある博物館視察</li> <li>ミュージアムセミナー「火起し体験講座」の提案と実施</li> <li>館蔵資料の再分類作業(旧分類:生活民俗)</li> </ul>
	考 古 学	平成 8 年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>活動方針の検討</li> <li>館蔵考古資料の分類展示方法に関する検討</li> <li>考古資料用資料情報カードの検討・作成</li> </ul> 平成 9 年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>学術発掘候補地の検討</li> <li>欧米の歴史考古学および考古学展示に関する文献の原書読読</li> <li>江戸出土考古資料の系統的研究</li> <li>常設展示通史コーナーの考古学分野の一層の充実に関する検討</li> </ul>
第 4 (博物館学)	博 物 館 学	平成 8 年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>活動方針の検討</li> <li>江戸東京博物館の情報サービスおよび体系化の検討</li> <li>「博物館内アーカイブス入門」の翻訳</li> <li>海外博物館の視察報告</li> <li>博物館事業の普及に関する企画展示の検討</li> <li>ミュージアムセミナー「舞台裏から見る博物館」(学芸課と協働)の提案と実施</li> </ul> 平成 9 年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>博物館情報の体系化・共通化に関する調査・研究及び作業</li> <li>スミソニアン博物館編『ミュージアム=アーカイブス』の翻訳</li> <li>江戸東京博物館における記録や文書管理・共通化についての提言作成</li> </ul>

	・博物館事業の普及をテーマとする企画展示の検討
調査研究専門グループ連絡会	10月1日開催
活動状況報告会	12月25日、1月16日開催

別表 2

平成 8・9 年度 都市歴史研究室研究会実施状況

回数	開催日	発表者	テーマ
平成 8 年度			
1	平成 8 年 4 月 24 日(水)	横山泰子	鏑木清方と東京の芸能
2	平成 8 年 7 月 17 日(水)	横山泰子	小木新造『東京時代』を読む
3	平成 8 年 8 月 14 日(水)	岩淵令治	日本近世都市史研究の現状－吉田伸之氏の研究を素材として－
4	平成 8 年 9 月 11 日(水)	米山 勇	初田 亨『都市の明治』－その方法論と意味するもの－
平成 9 年度			
1	平成 9 年 5 月 28 日(水)	小林淳一	川原慶賀筆『人物画帳』にみるシーボルトの異文化理解
2	平成 9 年 8 月 6 日(水)	北原 進	共同研究テーマ「首都機能の集中と庶民生活」をとりあげるにあたって
3	平成 9 年 9 月 17 日(水)	小林 克	今戸焼の総合研究
4	平成 9 年 10 月 22 日(水)	北原 進	「首都機能」とは何か
5	平成 9 年 11 月 19 日(水)	米崎清実	近世裁判権における集権と分権
		近松鴻二	江戸の人口と近世城下町人口
6	平成 9 年 12 月 17 日(水)	早川典子	前川國男邸に関する調査報告
7	平成 10 年 1 月 28 日(水)	横山泰子	河竹黙阿弥の作品（散切物）にみられる明治東京の人々
		北原 進	首都機能の集中－幕府の監察制度
8	平成 10 年 2 月 4 日(水)	北原 進	幕末における札差仕方改正と旗本財政
9	平成 10 年 2 月 18 日(水)	米山 勇	近代建築保存の方法と問題点～「都市の記憶と再生」展にむけて
10	平成 10 年 3 月 4 日(水)	林 玲子	江戸における雇用労働
11	平成 10 年 3 月 18 日(水)	近松鴻二	「江戸図」－都市江戸の地図